

セチュラの風だより

2019年 12月 第9号



2019年の活動を振り返って！

西島 将 (Nishijima Tadashi)

もう12月、やっと12月…皆さんにとって2019年はどんな1年でしたでしょうか。私にとっては、「夢に見た海外で生活し外国人として働く難しさや孤独感を感じる厳しい1年でした」。見知らぬ街で慣れない言語、生活、文化に苦戦し自分と1人で向き合い奮起する日々。海外で生活し働く事の大変さや難しさを痛感しました。

またその中で、日本なら問題なく出来る事も半人前にしか出来ない悔しさ、家族や友人達の助けの有難さ、自分は外国人であり日本人である事を知る1年でもありました。来年2020年は、今年得た経験や反省を活かし、一層言語や活動に集中する事と周りとの人間関係構築に努めていきたいです！！

最近の環境教育・合同活動！！

セチュラに着任してから約半年が経ちました。拙かったスペイン語もだんだんと自然になり、今では生徒達に週9コマ、環境教育を教えています。

この写真は、初めて50分の授業を1人で行う事が出来た記念の写真です。子供達の質問を理解し、回答が出来たことでやっと先生らしく自信をもって教える事が出来ました。最近では、帰国後の持続可能な教育のために授業後の先生へのフォローや習熟度テストも実践中です。



ペルー北東部のイキトス(アマゾン)で、先輩隊員と路上で「Free Caligrafía」(無料書道紹介)を日本文化紹介の一環で行いました。

まさか自分が「路上パフォーマーになる」とは思っていなかったのですが、実際にやってみると多くの方が足を止めてくれ1時間半で約70人に名前や好きな言葉を書いてプレゼントする事が出来ました。

コピー用紙の裏紙を利用する事で、環境の大切さも併せて伝える事ができ、実りのある活動でした。今後セチュラの子供達へのお楽しみ授業で実践したいです。



ペルーの挨拶とは？

今回は、ペルーの挨拶を紹介します。男性同士は、握手で挨拶をします。女性同士は、互いに右の頬をくっつけて、口はキスするようにチュッと音を出すハグをします。年齢差のある初対面の方には握手をして敬意を示します。男女の場合は、最初は握手で挨拶をします、次からはハグをします。

最初はハグに慣れずに緊張がありましたが、挨拶なのでやらないと逆に不思議がられます。ペルー人の挨拶の仕方を見ると、ペルーは愛情深い国民だなと感じました。現地の文化や習慣を真似して「現地人」として生活する事も協力隊活動の一環として、今は楽しんでます。